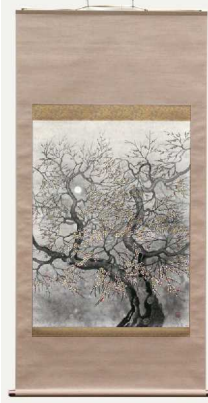




「早春の沼」矢吹 亜土子
早春の風景は私の心を揺らしてしまふ。
秋よりも春よりもこのジョンプリアンの
世界が大好きなのだ。

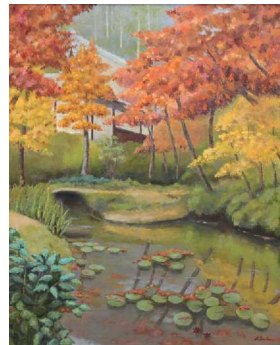


奨励賞「ヒトギンチャク」青木中学校美術部
3名：濱田 麻由佳、石川 奏、児島 奈津希
海底に生息していた人の脚のような新種の生物の化石。イソギンチャクのような「ヒトギンチャク」と呼ばれる。何を食べ、どのように増えたのかは全くの謎。長い時間をかけて創りました。建築用の外壁材で固めるのが一番大変でした。



奨励賞「薄陽さす」福本 幸詞

受賞候補作品 会員



「園光寺」和田 愛子
ここにたつたきれいで、と、連れて行つてくれた園光寺。タクシーの運転手さんに感謝でした。



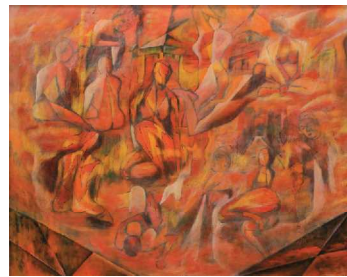
「ノスタルジア」遠見 暢宏
夏休み、母と里帰り。村はずれの峠を越す時の思い出を描く。その峠道は今もあるのだろうか。



「ALINE」海老原 康晴
7年ぶりに筆をとりましたが、納得のいくものには程遠いです。これから頑張りたいと思います。



「陽はまた、樹魂再誕」江川 宏
作品は私の化身である。病んだ体調回復の願いを樹魂に託し、また陽が昇り再誕させる意図で描いた。



「女人高野 曼荼羅」寺尾 浩充
高野山を参拝しました。密教について考えていた世界を秋の高野山をイメージして描きました。



「白樺露往霜来」河端 遊
晩秋の庭を表現。露霜を誇大化し、夫々の集合体として、秋へのイメージを図ったつもり。



「春閑近」江夏 徳美
ほのぼのとした春待ち谷を想定したが、チョット暗く固くなりました。また、手前の描写に大苦戦。



「浄」片桐 豊
奈良法隆寺の回廊から外庭の光景が美しく。仏の地、極楽浄土の苦悩もないやすらぎの場所に感銘。



「あの日」川名 理美子
広大な海、時を忘れさせ、先の見えない社会、どこへ向かっていくのか？



「南仏アヴィニヨンの街角」田中 静枝
南仏旅行のスケッチを元に描いてみました。



「雨の日のアトリエ」山口 圭
アトリエをテーマに制作しています。反省点をふまえ、向上心を持って頑張っていきたいです。



「春閑近」江夏 徳美
ほのぼのとした春待ち谷を想定したが、チョット暗く固くなりました。また、手前の描写に大苦戦。



「百合と石榴」武石 とき子
家の庭で咲いた花を描くのが好きで、この百合も家で咲いたもの。石榴も自然に生ったものを描きました。



「ベリダンダンス」浅倉 文夫
人物画の場合いつも気になるのがバックの作り込みです。いろいろ試案するものも、楽しみの1つです。



「ジャージー海岸」山浦 しゅん
見渡すかぎりの長い砂浜。8月の強い陽射しに冷たい海水。青い空の下に映える白いホテルで孫たちと夏休み！



「水遊び」岡本 金子
孫二人、泣いて笑って楽しく過ごす毎日、描きました。



「88才いつも気まぐれに」玉井 和子
今になって油絵を楽しむなんて、十年前には思いもよらない事でした。一日でも長く続きますように。

2015春季展受賞作品 (賛助会員・公募)

アートガーデンかわさき 平成27年4/21~4/26



優秀賞
「子安運河」中島 明高



ホルペイン工業賞
「庭仕事開始」山浦 しゅん



奨励賞
「富士川秋色」石橋 克也



クサカバ賞
「路地のカフェ」本 啓一



奨励賞
「ガーデニング」小川 知子



マツダ賞
「里山の径」村上 實

2016春季 JAG展



2016年(平成28年)のJAG春季展は新装になって2年目の横浜市民ギャラリーで開催します。4号から最大50号(タテヨコ)まで。真新しいギャラリー、皆様の作品披露を心からお待ちしております。

- 場所：横浜市民ギャラリー 2F全フロア 桜木町・紅葉橋越えて左坂登る
- 月日：2016年4月19日(火)~4月25日(月)



※地図・写真は横浜市民ギャラリー様の資料等から掲載しております。
●詳細は出品案内・申込み書をご覧ください。